

～茨城県内で初の取り組み～ 「自治体指定ごみ袋」にバイオマスプラスチックを導入 バイオ配合率25% 令和4年度から

笠間市では、環境負荷の軽減と市民の環境意識の高揚を図るため、令和4年度から「指定ごみ袋(小袋)」をリニューアルし、**植物由来のバイオマス原料を25%配合**した「バイオマスプラスチック」を導入します。

バイオマスプラスチックは、サトウキビなど植物由来の原料から作られ、「製造に使用する原油の使用量を削減できる」「大気中のCO2の増加原因とならない」など、環境面でメリットがあります。

自治体指定ごみ袋にバイオマスプラスチックを使用するのは、**茨城県内で笠間市が初(※)**となります。なお、現在は令和3年度分の在庫があるため、新しいごみ袋が店頭に並ぶのは令和4年6月頃となる見込みです。

笠間市では今後も、プラスチックごみの削減、循環型・脱炭素社会の実現を推進してまいります。

(※)出典「令和2年度バイオマスプラスチック利活用検討業務報告書(環境省)」

【特徴】

- ①植物由来のバイオマス原料を25%配合
- ②茨城県内の自治体で初のバイオマスプラスチック導入
- ③外装袋もコンパクトになり、使用するプラスチックを削減(従来の約半分のサイズ)
- ④笠間市の木「さくら」をイメージした優しい色合い
- ⑤国内製造により品質確保と、輸送にかかる環境負荷軽減を実現

※生分解性プラスチックではありませんので、自然環境で分解されることはありません。

可燃ごみ収集袋として、決められた日に地域の集積所に出していただきます。

※大袋(45リットル)は従来と同じ仕様となります。

【笠間市指定ごみ袋(小袋)概要】

- (容量) 20リットル
- (製造数) 35,000セット
※1セット10枚
- (販売価格) 1セット100円(税込み)
- (取扱店舗) 市内115店舗
※店頭で陳列される時期については、各店の在庫状況により異なります。
- (製造者) 株式会社内田化工
(小美玉市堅倉1579-4)



(お問い合わせ・取材申し込み)

笠間市役所 市民生活部 環境保全課 担当:池田・飯島

電話番号:0296-77-1101 ファックス番号:0296-77-1146 e-mail:kankyo@city.kasama.lg.jp